

デジタルツール

県作成

キャリアパスポート
きもちメーター
学習支援動画

外部ツール

GoogleWorkspace
高知県アカウント発行

外部ツール

デジタル教科書

デジタルドリル

県作成

単元テスト
これ単etc

外部ツール

MEXCBT
学びの保障
オンライン学習システム
(文科省提供)

デジタルドリル
(業者作成)

校務系データ

School Engine
統合型統一校務支援システム
te@chernaivi

校務支援システム

ダッシュボードによる可視化

児童生徒用
個人ダッシュボード
イメージ

学級・学年・学校用
ダッシュボード
イメージ

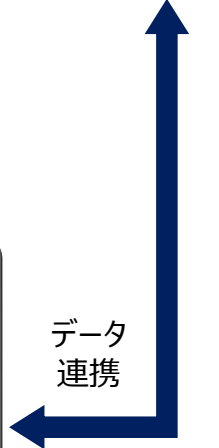
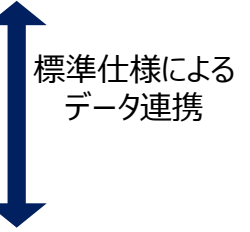
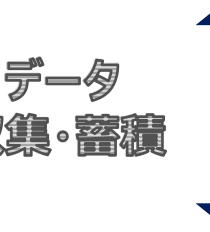
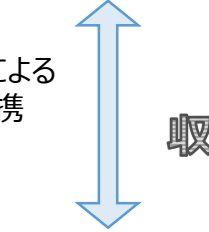
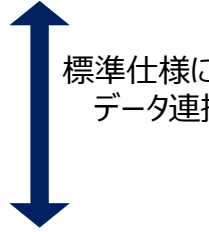
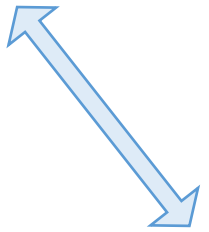
オープンソース
を利用した
ダッシュボード

データ
可視化

高知県学習支援プラットフォーム「高知家まなびばこ」

学習eポータル機能

- ◎ ユーザー認証 (SSO)
- ◎ 各種デジタルツールとの標準仕様による連携
- ◎ 学習者情報管理



フェーズⅠ
1人1台端末環境の日常化

- ▶ 学習支援プラットフォーム「高知家まなびばこ」の構築
- ▶ 高知県Googleアカウントを発行・管理
- ▶ デジタルツールの開発・更新

フェーズⅡ
各種ログのビッグデータ化

- ▶ 各種デジタル教材から得られる児童生徒の様々なデータを学習支援プラットフォームに収集・蓄積し、ダッシュボードで可視化

フェーズⅢ
学習各種データの分析・活用

- ▶ 学習履歴 (スタディ・ログ)、生活履歴 (ライフ・ログ) 指導履歴 (アシスト・ログ) 等の経年・相関分析から指導の個別化・学習の個性化につながる活用を提案

自治体・学校のニーズに応じたデータベースの運用

デジタルドリルで収集・蓄積した スタディ・ログの活用例

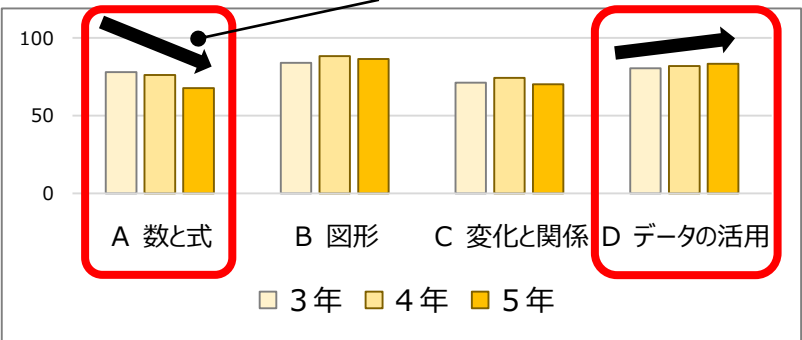


個別最適な学びの実現

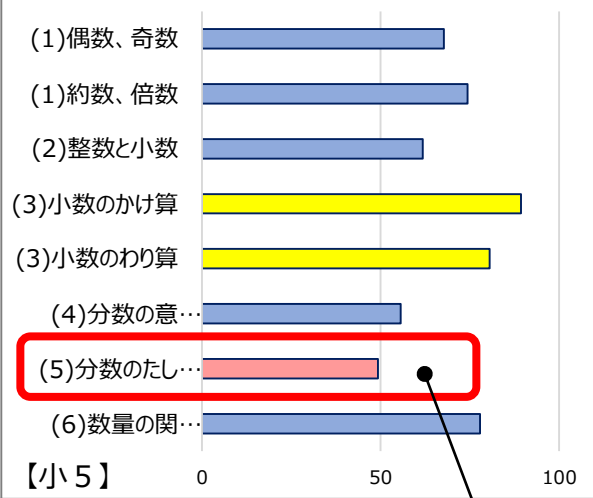
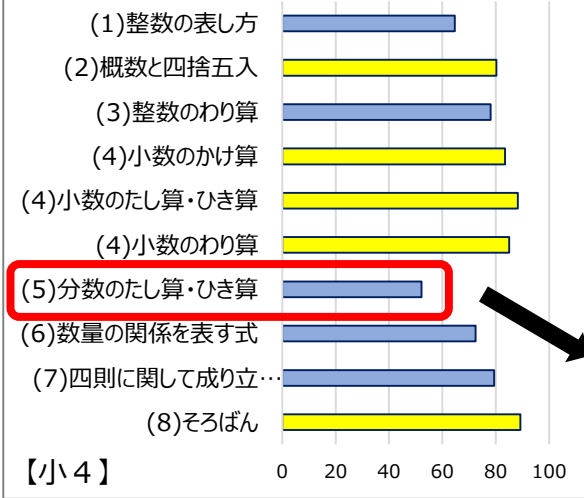
教科、領域、単元、内容のまとまり等、さまざまな範囲の学習履歴の経年比較ができます。このことで、児童生徒の学力の伸びや学び残しが把握でき、学習指導の検証、改善につながります！

分析①

2年前と比べると「データ活用」の領域が伸びている。「数と式」の領域の定着度が下がっている。



分析②



分析③



さらに、「分数のたし算・ひき算」を見ると、「通分」の定着度が低い。

支援

- ・加力・家庭学習の内容に反映する。
- ・授業中の具体的な個別支援につなげる。



さらに、「数と式」の領域を見ると、「分数のたし算・ひき算」の定着度が下がっている。

きもちメーター・気づき入力で収集・蓄積した ライフ・ログの活用例



早期対応・早期支援の強化

気になる兆候や気づきを早期に集約、管理職や関係する教員と共有することで、組織的な早期対応・支援につながります！

分析

名前	9/1 (月)	9/2 (火)	9/3 (水)	9/4 (木)	9/5 (金)
A	😊	😊	😊	😊	😊
B	😊	😞	😊	😞	😡
C	😞	😊	😊	😊	😊
D	😡	😡	😞	😡	😡

Cさんは毎週明けの気持ち下がっているので、意図的な声かけを行う。

Dさんは水曜日に職業体験先で態度を評価されたことで気持ちが上向いていると考えられる。校内でも肯定的な声かけを続けていく。

支援

きもちメーターと気づき入力、日常の様子を重ねることで、具体的な声かけや配慮につなげる。



気づき入力

入力日	カテゴリ	作成者	気づき内容
2021/9/1	授業中	数学担当	タブレット端末を効果的に使って、数値をグラフ化して説明することができた。
2021/9/3	総合的な学習	学級担任	職業体験先から対応の態度がすばらしいと評価をいただいた。
2021/9/5	その他	養護	保健室への来室があり、体調不良を訴えた。睡眠不足なので、家庭への働きかけをしたい。



教育データ利活用で実現する 最適な個別指導・支援

デジタルツールで学びを評価する

評価ツールを使用した単元計画例【小算5年】

単元	偶数と奇数 倍数と約数		分数と小数、 整数の関係		分数のたし算・ひき算						平均		
小単元					通分	約分	帯分数 仮分数	分数と 小数	分数のたし 算・ひき算	分数と 時間	まとめ		
ツール 使用例			MEXCBT	MEXCBT							MEXCBT		

形成的評価 授業を進めていく過程で 児童生徒個々の習得度 合いを評価	評価ツール例	総括的評価 単元終了後に児童生徒 個々の単元を通した習 得度合いを評価	評価ツール例
	デジタルドリル (業者)		算数単元 テスト(県) MEXCBT (文科省)

小単元終了時にデジタルドリル(業者)を実施し形成的評価を行い、
単元終了時に算数単元テスト及びMEXCBTを実施し総括的評価を行う

<形成的評価分析> 分数のたし算・ひき算「通分」

結果	問1	問2	問3	正答率
Aさん	○	○	○	100%
Bさん	○	○	×	67%
Cさん	×	×	×	0%
正答率	90%	70%	45%	68%

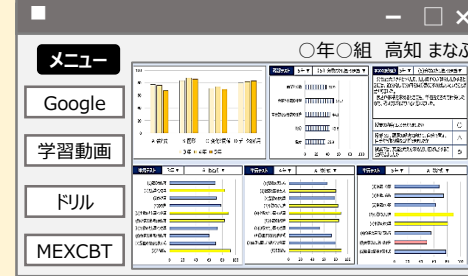
形成的評価分析で見いだした
取組の成果が
総括的評価に
現れているか

<総括的評価分析> 偶数と奇数～分数のたし算・ひき算

結果	奇数 偶数	倍数 約数	分数 小数	たし算 ひき算	分数 時間	正答率
Aさん	○	○	○	○	×	80%
Bさん	○	×	○	○	×	60%
Cさん	○	○	×	○	×	60%
正答率	95%	80%	75%	70%	35%	71%

- 📊 Cさんの学習の理解度について**
 → 形成的評価で「分数のたし算・ひき算」は理解度が低かったが、総括的評価では学習の理解が見られる結果となっていることから、**個別最適な指導・支援が効果的であった**と考えられます。
- 📊 クラス全体として「分数と時間」の理解度が十分でない**
 → 総括的評価で学習の理解度が低かったことから、**形成的評価分析を見直し**、個別最適な指導・支援を**再考**する必要があります。

データの可視化によって 自ら学びを調整する



児童生徒が自らの状態を様々なデータも活用しながら把握し、自らに合った学習の進め方を考えることができます。

データを基にした 弾力的な教育課程の編成

学習指導要領でも各学校において創意工夫を生かした教育課程の編成が求められていますが、収集した各種データを基に各校の強みや弱みを把握することで、効果的な指導計画の立案につながります

さらにデータ活用が発展的に進むと...

- 📊 Cさんの理解度が低い**
個別最適 → 加力学習で個別指導
 → 授業における特別な支援・配慮
- 📊 クラス全体として問3の学習内容の理解度が十分でない**
個別最適 → 加力学習で重点的な取組
 → 家庭学習で重点的な取組
指導改善 → 指導計画の見直し・改善